

## 民主党三重県総支部連合会と三重県商工会議所連合会との懇談会を開催

～平成24年1月21日（土）津都ホテルで開催～

三重県商工会議所連合会（会長・竹林武一）は、1月21日（土）津都ホテルにて、民主党三重県総支部連合会との懇談会を開催しました。

民主党三重県総支部連合会からは、芝 博一参議院議員（三重県連代表）、中井 洽衆議院議員、中川正春衆議院議員、藤田大助衆議院議員（三重県連副代表）、金森 正衆議院議員（三重県連幹事長）、高橋千秋参議院議員をはじめ中森慎二四日市市議会議員、三谷哲央三重県議会議員、舘 直人三重県議会議員、北川裕之三重県議会議員など13名の皆様にご出席を賜り、当連合会からは、県下各商工会議所会頭並びに専務理事ら26名が出席しました。

竹林会長は挨拶の中で「現在の経済情勢は、一部の業種や企業においては改善の兆しを見せつつありますが、商工会議所の会員の大半を占める小規模事業者をはじめ中小企業にとっては、依然として厳しい環境にあります。また、高校生・大学生の就職内定状況を見ても大変厳しい状況が続いています。本日はこのような経済・雇用情勢を克服するための施策や新名神高速道路の整備など東名阪自動車道の渋滞緩和や建設途上にある県内幹線道路網の早期完成等インフラの整備などについてご提案させていただきます。」と述べました。

その後、民主党三重県総支部連合会を代表して芝 博一参議院議員が「本日はこのような場を設けていただき大変嬉しく思います。現在、国では東日本大震災による地震、津波、原発事故、また当地域での台風12号、15号による被害など復興支援策について積極的に取り組んでいますが、1月24日からの通常国会では第4次補正予算を成立させていただき進めてまいりたいと思っています。また、税と社会保障についてもしっかりと議論を行い、国会議員の定数削減や国家公務員削減など行政改革と一体となって取り組んでいかなければならないと思っています。

本日は地域の課題や中小企業の問題など忌憚のないご意見、ご提案を頂き地域の振興に反映させていきたいと思っております。」と挨拶されました。

懇談会では、齋藤副会長（四日市商工会議所会頭）が、外資系、日系企業誘致のための法規制緩和や事業所税の廃止について、西村副会長（桑名商工会議所会頭）が、円高の急速な進行による国内産業の空洞化解消、海岸堤防の耐震補強や高速道路内への一時避難場所の設置、高速道路通行料金の大幅割引などについて、木津監事（上野商工会議所会頭）が、日本経済の安定的成長や国力の維持・増進を支えるソフト・ハード両面に亘る諸施策などについて、森岡監事（熊野商工会議所会頭）が、台風12号の災害対策と今後の防災への取り組み強化について、長田理事（亀山商工会議所会頭）が、リニア中央新幹線の早期建設や新名神亀山・四日市間の早期開通と亀山西JCTのフルジャンクション化について提案を行いました。

その後、国会議員や県議会議員よりご指導とご助言をいただき、それぞれ意見交換を行いました。



▲県下各商工会議所会頭並びの専務理事



▲民主党三重県総支部連合会の皆さん



▲竹林会長の挨拶



▲芝参議院議員（三重県連代表）の挨拶